

## 第60回愛知県柔道道場連盟道場対抗柔道大会要項

1. 主催 愛知県柔道道場連盟
2. 後援 愛知県柔道連盟・中日新聞社・愛知県柔道整復師会
3. 日時 令和6年9月15日(日) 午前9:45開会
4. 会場 江南市武道館 江南市高屋町清水118
5. 参加資格 愛知県柔道道場連盟に加盟の道場に所属する者とします
6. 審判 『国際柔道連盟試合審判規定』2023最新版 並びに『少年大会特別規定』で行います

### (1) 団体戦

ア チーム構成：一般・少年の部共に各道場単位1チームのみ出場とし5人構成です

イ 選手構成：○一般の部(中学2年生以上の男子、該当者無き場合は下段の選手を起用すること)

先鋒→初段 次鋒→初段 中堅→弐段 副将→弐段 大将→弐段以上

○少年の部(女子含む可、該当者無き場合は下学年の選手を起用すること)

先鋒→小3 次鋒→小4 中堅→小5 副将→小6 大将→中1

ウ 試合方法：○試合形式 点取りトーナメント方式

○試合時間 正味3分間

○判定基準 「技あり」又は「指導差2」同点・同内容の場合は代表戦を一回実施

「ゴールデンスコア方式」により決定する 代表戦は引き分けの中より選手を決めます

### (2) 個人戦

ア 試合種別：①小学1年生の部(男女混成) ②小学2年生の部(男女混成)

③女子の部(高校生以上)

(以下高校生以上で男子)

④無段者の部 ⑤初段の部 ⑥弐段の部 ⑦参段以上の部 以上7階級とします

イ 試合方法：○試合形式 トーナメント方式

○試合時間 正味3分間

○判定基準 「技あり」又は「指導1」以上の差「僅差」により試合時間内に決定する

(決勝戦のみゴールデンスコア3分間を行います)

### 7. 申込み方法

(1) 申込先 〒492-8066 稲沢市下津新町125 夫馬接骨院柔道場

TEL・0587-23-7491 FAX・0587-74-7491

PCメールアドレス [agn92510@seed.odn.ne.jp](mailto:agn92510@seed.odn.ne.jp)

(2) 申込期限 令和6年8月20日(火) 必着でお願いします

(3) 申込書 各所属の代表者は選手の健康、技能を確認し別紙所定の様式により申込んで下さい

8. 参加費 一人800円(試合当日各団体一括納金)

9. 表彰 団体・個人共3位まで表彰(3位決定戦は行ないません)

10. 組合せ 一般・少年の部共に前年度の優勝、準優勝チームをシードして行います

### 11. その他

(1) 所属道場のゼッケンを縫い付けること

(2) スポーツ傷害保険に加入している事、大会中負傷等の事故が生じた場合応急処置迄とし後の責任は負いません

(3) 選手変更をする場合は大会当日受付の際に届けるものとします

(4) 本要項に該当しない事態が生じた場合は大会運営委員会協議の上決定します

(5) 各役員(理事)は午前8時30分に集合してください

## ◇大会申し合わせ事項・確認事項◇

- 1、本大会は「国際柔道連盟試合審判規定」「少年大会特別規定」及び本日の申し合わせ事項を適用する
- 2、試合時間はすべて3分間（正味時間）
- 3、判定基準  
団体戦・・・「一本」「技あり」「押さえ込み10秒以上」「指導差2」とし、同点同内容の場合は代表戦を1回行う、代表は引き分けの組から審判長が選ぶ  
個人戦・・・「一本」「技あり」「押さえ込み10秒以上」「指導差1」として差がない場合は旗判定とします  
決勝戦のみゴールデンスコア3分間を適応します  
（団体戦・個人戦共に指導は3回目に反則負けとなる）
- 4、試合場  
団体戦・個人戦ともに1試合1試合場で行う  
（小学1・2年生個人戦は1試合場複数組も可）
- 5、決勝戦  
団体戦・・・一般は第1会場で行う  
少年は第2会場で行う  
決勝の審判は各会場の審判員で行なう  
個人戦・・・各会場にて行う  
決勝の審判は各会場の審判員で行なう
- 6、反則：反則を犯した場合は厳正に対処する
- 7、危険防止
  - a) 試合中に脳震盪を起こし試合継続が危険と思われる場合は「負傷負け」を宣告する（団体戦においては、以後の試合に出場できない）
  - b) 寝技の攻防時に頸椎（または脊椎）に損傷を及ぼすような状態になった場合は「待て」として立たせる
  - c) 締め技により失神した（落ちた）場合以後の試合に出場できない
- 8、すべての試合を3審で行う。審判員は、進行係（呼び出し、時計、掲示）を兼務し速やかに試合の進行を行う
- 9、個人戦では必ず、毎試合終了時に勝者を掲示担当者の所に行かせて所属と名前を報告するように指示する、また対戦表が正確に記入してあるかを常に確認する
- 10、会場責任者は、準決勝戦終了後ただちに入賞者の名前（漢字）、読み方を必ず本人に確認して入賞者名簿を提出する
- 11、試合の進行状況により担当の会場の試合が早く終了した場合は、まだ終了していない会場と協力して速やかな試合進行に努める